

平成29年度
褐毛和種の経営に関する調査報告書
【要約版】



平成30年3月
独立行政法人農畜産業振興機構

【要約版】

1. 褐毛和種繁殖経営

(1) 経営概況（1戸当たり）

調査対象経営体全体の平均の褐毛和種繁殖雌牛の飼養頭数は17.1頭、同子牛出荷頭数は10.8頭であった。これに対して、褐毛和種の代表的生産県である熊本県平均の飼養頭数は16.9頭、子牛出荷頭数は9.9頭であり、いずれも熊本県平均は全体平均とほぼ同等である（図1）。高知県の繁殖雌牛飼養頭数、子牛出荷頭数が全体平均よりも多くなっているが、対象農家数が2戸と少なく、また、うち1戸の繁殖雌牛飼養頭数、子牛出荷頭数が多かったため、全体との乖離が大きい。

図1 褐毛和種繁殖雌牛の飼養頭数、同子牛の出荷頭数（単位：頭）

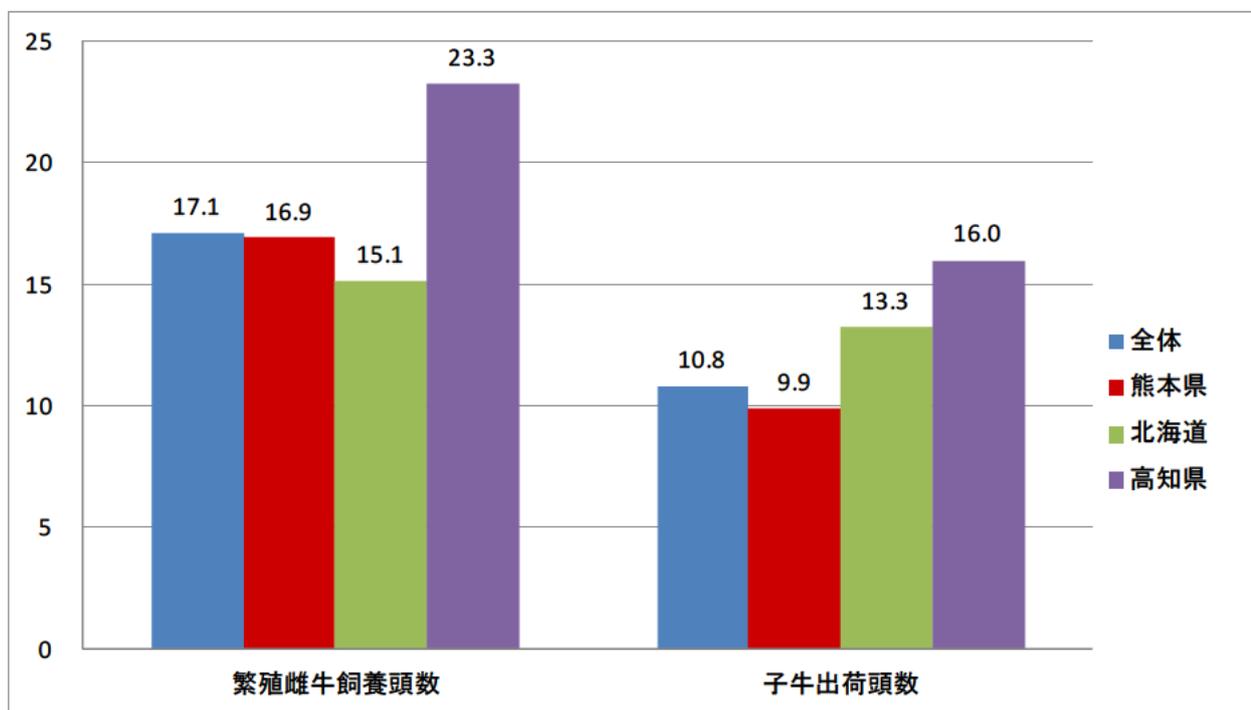


表 1 褐毛和種繁殖雌牛の飼養頭数、同子牛の出荷頭数の前年比 (単位：頭、%)

	繁殖雌牛飼養頭数			子牛出荷頭数		
	27年度	28年度	前年比	27年度	28年度	前年比
全体	17.3	17.1	98.8%	11.9	10.8	90.8%
熊本県	17.1	16.9	98.8%	11.5	9.9	86.0%
北海道	14.5	15.1	104.1%	10.0	13.3	133.0%
高知県	25.0	23.3	93.2%	20.5	16.0	78.0%

農業収入をみると、全体平均では 21,333 千円、熊本県平均では 19,058 千円、北海道平均が 39,332 千円、高知県平均が 10,358 千円である。熊本県平均は全体平均よりも低く、全体平均の 89.3%であった。北海道は売上が大きく、熊本県、高知県よりも農業収入は大きくなっている。

しかし、肉用牛収入でみると、全体平均では 11,738 千円、熊本県平均では 12,517 千円、高知県平均がほぼ同様に 10,342 千円であった。一方で、農業収入が高かった北海道は 8,152 千円に過ぎなかった。農業収入に占める肉用牛収入の割合は前年とほぼ同様で全体平均では 55.0%であった。また、肉用牛収入に占める褐毛和種の割合は全体平均では 57.7%、熊本県平均では 52.2%、高知県平均が 100%、北海道平均は 77.4%であった(表 2)。

表 2 褐毛和種繁殖経営の農業収入

	農業収入 (千円)	肉用牛収入 (千円)	農業収入に占める割合 (%)	うち褐毛	
				和種収入 (千円)	肉用牛収入に占める割合 (%)
全体	21,333	11,738	55.0	6,775	57.7
熊本県	19,058	12,517	65.7	6,535	52.2
北海道	39,332	8,152	20.7	6,312	77.4
高知県	10,358	10,342	99.8	10,342	100.0

注 1：「肉用牛収入」、「褐毛和種収入」には補給金・補填金などは含まない。

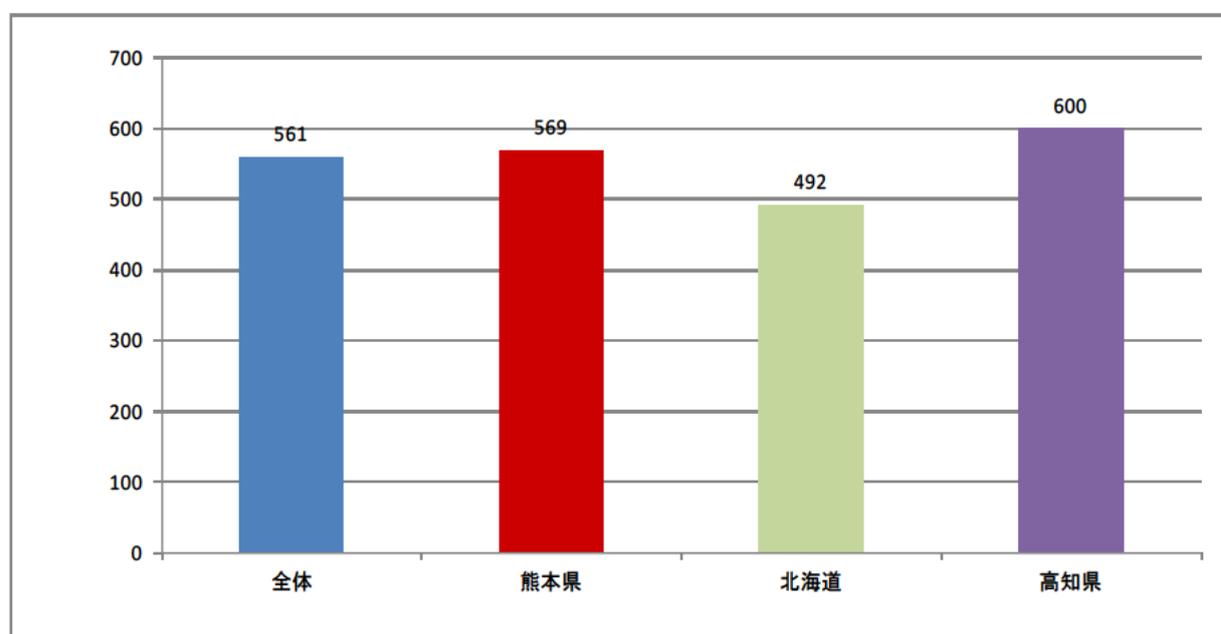
注 2：農業収入、肉用牛収入、褐毛和種収入は税込みの金額(以下同様)。

(2) 褐毛和種子牛生産費

褐毛和種の子牛1頭当たり生産費は、全体平均では561千円、熊本県平均では569千円、北海道が492千円、高知県が600千円である(図2)。熊本県平均の生産費は全体平均の生産費よりやや高く、北海道平均は全体平均より低く、高知県平均は高い。

27年度の全体平均の褐毛和種の子牛1頭当たり生産費は521千円であり、28年度は前年より7.7%上がっている。また、熊本県平均は522千円であり、28年度は前年より9.0%とかなり上昇している(表3)。

図2 褐毛和種の子牛生産費(1頭当たり) (単位:千円)



注1: 生産費は税込みの金額(以下同様)。

表3 褐毛和種の子牛生産費(1頭当たり)(単位:千円、%)

	25年度	26年度	27年度	28年度
全体	533	537	521	561
前年比	—	100.8%	97.0%	107.7%
熊本県	521	524	522	569
前年比	—	100.6%	99.6%	109.0%

褐毛和種の子牛1頭当たり生産費を構成する費用の内訳は、全体平均では、飼料費が168千円(29.9%)で最も多く、次いで、減価償却費88千円(15.8%)、労働費83千円(14.9%)、物件税及び公課諸負担43千円(7.7%)、その他諸材料費31千円(5.6%)となっている。

熊本県平均の内訳は、飼料費が174千円(30.5%)、減価償却費89千円(15.6%)、労働費88千円(15.5%)、物件税及び公課諸負担43千円(7.6%)、その他諸材料費35千円(6.2%)となっており、全体平均と同程度となっている(表4、表5)。

北海道平均は、飼料費が109千円(22.1%)、減価償却費96千円(19.4%)、労働費51千円(10.3%)、物件税及び公課諸負担45千円(9.1%)、支払地代30千円(6.2%)となっている。高知県平均は飼料費が219千円(36.4%)、労働費94千円(15.6%)、減価償却費67千円(11.1%)、水道光熱費59千円(9.8%)、物件税及び公課諸負担40千円(6.7%)である。

表 4 褐毛和種の子牛 1 頭当たり生産費（地域別実績）（単位：戸、円）

	地域別			
	全体	熊本県	北海道	高知県
調査対象農家数	28	22	4	2
飼料費	167,732	173,797	108,953	218,577
うち購入飼料費	144,463	151,006	71,418	218,577
うち自給飼料費	23,269	22,791	37,534	0
敷料費	6,469	5,589	13,624	1,841
労働費	83,303	88,252	50,959	93,541
うち家族労働費	80,140	84,228	50,959	93,541
うち雇用労働費	3,162	4,025	0	0
獣医師料及び医薬品費	21,349	20,905	20,275	28,386
水道光熱費	28,253	26,916	20,217	59,027
種付費	16,672	17,469	13,455	14,341
減価償却費	88,365	89,027	95,629	66,555
うち家畜	39,699	43,461	38,859	0
うち建物費	11,169	11,816	13,195	0
うち自動車・農機具費	37,497	33,750	43,575	66,555
修繕費	28,809	29,315	24,286	32,286
うち建物費	5,569	4,432	3,321	22,582
うち自動車・農機具費	23,239	24,883	20,964	9,705
その他諸材料費	31,199	35,267	19,450	9,950
賃借料及び料金	24,476	24,218	24,666	26,932
物件税及び公課諸負担	43,315	43,306	44,899	40,255
その他	13,487	12,658	20,676	8,218
支払利子	6,354	6,706	7,598	0
支払地代	10,850	8,273	30,449	0
生産費	560,582	569,405	492,393	599,909

表5 褐毛和種の子牛1頭当たり生産費（地域別構成比）

	構成比			
	全体	熊本県	北海道	高知県
飼料費	29.9%	30.5%	22.1%	36.4%
うち購入飼料費	25.8%	26.5%	14.5%	36.4%
うち自給飼料費	4.2%	4.0%	7.6%	0.0%
敷料費	1.2%	1.0%	2.8%	0.3%
労働費	14.9%	15.5%	10.3%	15.6%
うち家族労働費	14.3%	14.8%	10.3%	15.6%
うち雇用労働費	0.6%	0.7%	0.0%	0.0%
獣医師料及び医薬品費	3.8%	3.7%	4.1%	4.7%
水道光熱費	5.0%	4.7%	4.1%	9.8%
種付費	3.0%	3.1%	2.7%	2.4%
減価償却費	15.8%	15.6%	19.4%	11.1%
うち家畜	7.1%	7.6%	7.9%	0.0%
うち建物費	2.0%	2.1%	2.7%	0.0%
うち自動車・農機具費	6.7%	5.9%	8.8%	11.1%
修繕費	5.1%	5.1%	4.9%	5.4%
うち建物費	1.0%	0.8%	0.7%	3.8%
うち自動車・農機具費	4.1%	4.4%	4.3%	1.6%
その他諸材料費	5.6%	6.2%	4.0%	1.7%
賃借料及び料金	4.4%	4.3%	5.0%	4.5%
物件税及び公課諸負担	7.7%	7.6%	9.1%	6.7%
その他	2.4%	2.2%	4.2%	1.4%
支払利子	1.1%	1.2%	1.5%	0.0%
支払地代	1.9%	1.5%	6.2%	0.0%
生産費	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

注：本調査の生産費の算定式は既に示した通りである（6頁参照）。生産費は当期生産費用に期首飼養牛評価額、期中飼養牛評価、期末飼養牛評価の各生産費用要素を加味したものになっている。したがって各費用項目の合計は生産費と必ずしも一致しない。（以下同様）

1頭当たり生産費を飼養規模別にみると20～29頭の規模階層が最も高く807千円となった。次いで、9頭以下が563千円、10頭～19頭が550千円で、最も小さかったのは30頭以上で529千円となった。ただし20～29頭の規模階層の調査対象農家は1戸のみであるため、その農家の特性が強く反映している（表6）。

表6 褐毛和種の子牛1頭当たり生産費（飼養規模別実績）（単位：円、千円）

	飼養規模別			
	～9頭	10～19頭	20～29頭	30頭以上
調査対象農家数	11	11	1	5
飼料費	148,576	156,787	304,857	206,527
うち購入飼料費	120,848	134,341	292,143	189,147
うち自給飼料費	27,728	22,446	12,714	17,381
敷料費	6,656	7,980	0	4,026
労働費	104,073	57,502	107,143	89,600
うち家族労働費	102,413	51,766	107,143	88,163
うち雇用労働費	1,660	5,736	0	1,437
獣医師料及び医薬品費	20,932	29,109	16,143	6,239
水道光熱費	28,235	34,283	9,857	18,703
種付費	17,814	15,929	0	19,130
減価償却費	70,192	89,175	300,000	84,234
うち家畜	30,438	35,899	261,143	24,144
うち建物費	8,878	14,778	6,143	9,272
うち自動車・農機具費	30,876	38,498	32,714	50,818
修繕費	31,706	30,235	4,143	24,228
うち建物費	8,315	2,692	4,143	6,144
うち自動車・農機具費	23,391	27,543	0	18,084
その他諸材料費	26,346	47,310	8,857	10,903
賃借料及び料金	32,362	15,335	0	32,133
物件税及び公課諸負担	46,109	41,701	51,714	39,039
その他	15,667	11,466	4,714	14,889
支払利子	3,305	11,827	0	2,294
支払地代	11,310	13,038	0	7,193
生産費	562,618	550,393	807,429	529,151

表7 褐毛和種の子牛1頭当たり生産費（飼養規模別構成比）

	構成比			
	～9頭	10～19頭	20～29頭	30頭以上
飼料費	26.4%	28.5%	37.8%	39.0%
うち購入飼料費	21.5%	24.4%	36.2%	35.7%
うち自給飼料費	4.9%	4.1%	1.6%	3.3%
敷料費	1.2%	1.4%	0.0%	0.8%
労働費	18.5%	10.4%	13.3%	16.9%
うち家族労働費	18.2%	9.4%	13.3%	16.7%
うち雇用労働費	0.3%	1.0%	0.0%	0.3%
獣医師料及び医薬品費	3.7%	5.3%	2.0%	1.2%
水道光熱費	5.0%	6.2%	1.2%	3.5%
種付費	3.2%	2.9%	0.0%	3.6%
減価償却費	12.5%	16.2%	37.2%	15.9%
うち家畜	5.4%	6.5%	32.3%	4.6%
うち建物費	1.6%	2.7%	0.8%	1.8%
うち自動車・農機具費	5.5%	7.0%	4.1%	9.6%
修繕費	5.6%	5.5%	0.5%	4.6%
うち建物費	1.5%	0.5%	0.5%	1.2%
うち自動車・農機具費	4.2%	5.0%	0.0%	3.4%
その他諸材料費	4.7%	8.6%	1.1%	2.1%
賃借料及び料金	5.8%	2.8%	0.0%	6.1%
物件税及び公課諸負担	8.2%	7.6%	6.4%	7.4%
その他	2.8%	2.1%	0.6%	2.8%
支払利子	0.6%	2.1%	0.0%	0.4%
支払地代	2.0%	2.4%	0.0%	1.4%
生産費	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

2. 褐毛和種肥育経営

(1) 経営概況（1戸当たり）

全体平均の褐毛和種肥育牛の飼養頭数は91.0頭、出荷頭数は56.6頭であった。熊本県平均の肥育牛飼養頭数は89.5頭、肥育牛出荷頭数は60.7頭であり、出荷頭数では熊本県平均が全体平均を若干上回っている。これに対して北海道は飼養頭数が104.8頭と3地域のトップであるが、出荷頭数は55.3頭と熊本県を下回った。高知県は飼養頭数が76.0頭、出荷頭数が24.0頭と全体水準を大きく下回った（図3）。前年と比較すると、全体の飼養頭数は2.8%減少し、肥育牛出荷頭数は3.4%減少している。熊本県でも同様に飼養頭数は6.8%減少し、出荷頭数は6.9%減少している（表8）。

図3 褐毛和種肥育牛の飼養頭数及び出荷頭数

（単位：頭）

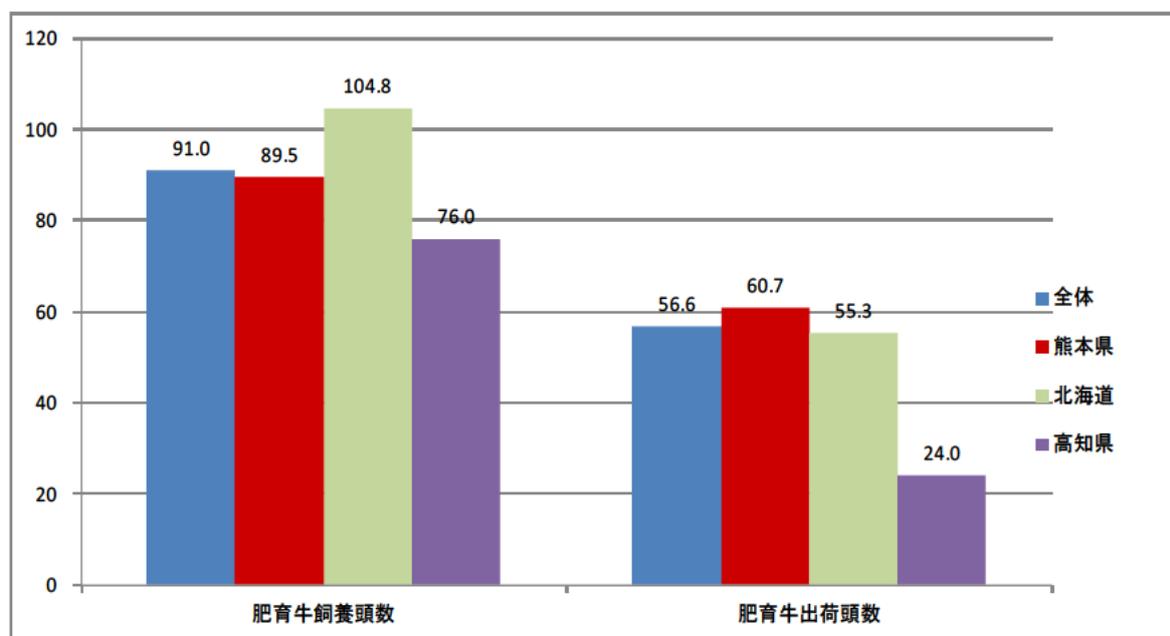


表 8 褐毛和種肥育牛の飼養頭数、同肥育牛の出荷頭数の推移 (単位：頭、%)

	褐毛和種肥育牛の飼養頭数				褐毛和種肥育牛の出荷頭数			
	25年度	26年度	27年度	28年度	25年度	26年度	27年度	28年度
全体	105.4	90.3	93.6	91.0	63.0	55.3	58.6	56.6
前年比	—	85.7%	103.7%	97.2%	—	87.8%	106.0%	96.6%
熊本県	115.8	91.1	96.0	89.5	66.0	58.3	65.2	60.7
前年比	—	78.7%	105.4%	93.2%	—	88.3%	111.8%	93.1%

農業収入をみると、全体平均では 89,838 千円、熊本県平均では 95,036 千円であり、熊本県平均は全体平均より高い水準であった。全体平均の肉用牛収入は 77,963 千円、褐毛和種収入 63,625 千円に対し、熊本県平均はそれぞれ 86,892 千円、69,626 千円と共に上回っている。これに対して北海道平均の農業収入は全体平均より若干低い 86,754 千円であるが、褐毛和種収入は 56,068 千円と大幅に下回っている。高知県平均も同様に褐毛和種収入は 27,730 千円となっており、北海道平均より更に低い水準となっている（表 9）。

表 9 褐毛和種肥育経営の農業収入

	農業収入 (千円)	肉用牛収入 (千円)	農業収入に 占める割合 (%)	うち褐毛 和種収入	
				(千円)	肉用牛収入に 占める割合 (%)
全体	89,838	77,963	86.8	63,625	81.6
熊本県	95,036	86,892	91.4	69,626	80.1
北海道	86,754	56,068	64.6	56,068	100.0
高知県	51,828	45,861	88.5	27,730	60.5

注：「肉用牛収入」、「褐毛和種収入」には補給金・補填金などは含まない。

(2) 褐毛和種肥育牛の生産費

褐毛和種肥育牛1頭当たりの生産費は、全体平均では981千円、熊本県平均では990千円であり、北海道平均が953千円、高知県平均が964千円であった。全体平均と比較すると熊本県平均が9千円高く、北海道平均は28千円低く、高知県平均は17千円低い結果となっている（図4）。

1頭当たり生産費は、前年と比較すると、全体で7.7%、熊本県で6.1%増加している。

図4 褐毛和種肥育牛1頭当たりの生産費 (単位：千円)

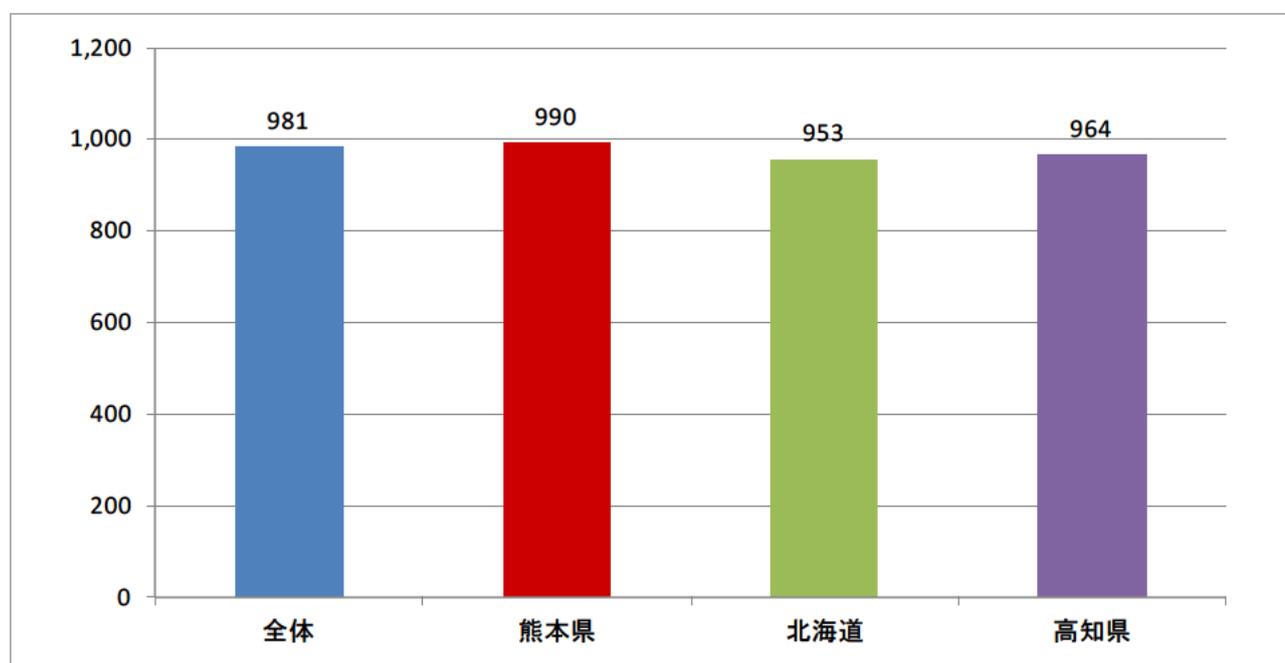


表10 褐毛和種肥育牛1頭当たりの生産費 (単位：千円、%)

	25年度	26年度	27年度	28年度
全体	772	836	911	981
前年比	—	108.3%	109.0%	107.7%
熊本県	738	858	933	990
前年比	—	116.3%	108.7%	106.1%

褐毛和種肥育牛 1 頭当たりの生産費の内訳は、全体平均では、もと畜費が最も多く 509 千円（51.9%）、次いで、飼料費 274 千円（28.0%）、労働費 69 千円（7.0%）、物件税及び公課諸負担 42 千円（4.3%）、減価償却費 34 千円（3.5%）となっている。熊本県平均でも同じ傾向にあり、もと畜費 566 千円（57.2%）、飼料費 253 千円（25.6%）、労働費 71 千円（7.2%）、物件税及び公課諸負担 38 千円（3.9%）、減価償却費 25 千円（2.6%）の順となっている。熊本県平均は全体平均に比べ、もと畜費、労働費が高く、飼料費、減価償却費、物件税及び公課諸負担が低くなっている（表 11、表 12）。

北海道平均は、もと畜費 450 千円（47.2%）、飼料費 265 千円（27.8%）、労働費 48 千円（5.0%）、減価償却費 59 千円（6.2%）、物件税及び公課諸負担 51 千円（5.4%）であった。全体平均や熊本県平均と比べて、もと畜費が低くなっている。これは北海道の褐毛和種の地域ブランドを維持し、これを安定的に供給する地域一貫経営政策を進めており、子牛の購入価格や購入頭数も、相対取引であらかじめ決められている。加えて、肥育農家は経済連と一定の販売量契約を取り結んでおり、それを維持するために割り当てられた地元産子牛とともに、比較的価格の高い熊本産の子牛も購入している。

高知県平均の生産費は、飼料費 470 千円（48.8%）、もと畜費 144 千円（14.9%）、労働費 97 千円（10.0%）、物件税及び公課諸負担 55 千円（5.7%）、減価償却費 58 千円（6.1%）となっている。高知県はもと畜費が全体平均、熊本県に比べて低くなっている。これは調査対象の肥育農家が一貫経営を行っており、自家保留の導入費をもと畜費に計上しているためと思われる。

規模別にみると、～29 頭の階層の生産費は 1,070 千円、30～49 頭は 993 千円、50～99 頭は 944 千円、100 頭以上は 979 千円である。生産の規模拡大に伴い生産費は減少傾向する傾向にあるが、100 頭以上になると逆転し、50～99 頭水準よりも生産費は大きくなっている。

もと畜費が最も高いのは 50～99 頭の階層で、最も低いのは 30～49 頭の階層であった。もと畜費は～29 頭の階層では 555 千円（51.9%）、30～49 頭の階層で 372 千円（37.5%）、50 頭～99 頭の階層で 557 千円（59.0%）、100 頭以上の階層で 513 千円（52.4%）である。一方、飼料費では 50～99 頭の階層が最も低く、239 千円であり、30～49 頭の階層が 330 千円と最も高かった（表 13、表 14）。

表 11 褐毛和種肥育牛 1 頭当たりの生産費(地域別実績) (単位：戸、円)

	地域別			
	全体	熊本県	北海道	高知県
調査対象農家数	23	17	4	2
飼料費	274,285	253,364	265,437	469,815
うち購入飼料費	264,005	245,676	241,553	464,699
うち自給飼料費	10,281	7,688	23,884	5,115
敷料費	10,723	8,538	25,372	0
労働費	69,114	70,832	48,033	96,671
うち家族労働費	68,056	70,577	48,033	86,671
うち雇用労働費	1,058	255	0	10,000
もと畜費	509,129	565,961	450,175	143,967
獣医師料及び医薬品費	11,190	12,384	3,779	15,868
水道光熱費・燃料費	19,842	19,336	17,786	28,253
減価償却費	34,090	25,328	59,217	58,319
うち家畜	7,672	6,609	6,139	19,769
うち建物	8,621	6,596	18,127	6,816
うち自動車・農機具	17,681	12,123	34,278	31,734
うち草地	116	0	673	0
修繕費	19,636	16,849	25,410	31,780
うち建物	4,394	3,519	8,348	3,917
うち自動車・農機具	15,243	13,330	17,062	27,863
その他諸材料費	13,409	11,444	14,857	27,218
賃借料及び料金	8,252	1,762	39,965	0
物件税及び公課諸負担	41,972	38,249	51,449	54,653
その他	13,219	12,143	15,783	17,231
支払利子	8,995	10,390	5,800	3,529
支払地代	11,580	7,662	10,502	47,042
生産費	981,138	989,725	953,388	963,650

表 12 褐毛和種肥育牛 1 頭当たりの生産費(地域別、構成比)

	構成比			
	全体	熊本県	北海道	高知県
飼料費	28.0%	25.6%	27.8%	48.8%
うち購入飼料費	26.9%	24.8%	25.3%	48.2%
うち自給飼料費	1.0%	0.8%	2.5%	0.5%
敷料費	1.1%	0.9%	2.7%	0.0%
労働費	7.0%	7.2%	5.0%	10.0%
うち家族労働費	6.9%	7.1%	5.0%	9.0%
うち雇用労働費	0.1%	0.0%	0.0%	1.0%
もと畜費	51.9%	57.2%	47.2%	14.9%
獣医師料及び医薬品費	1.1%	1.3%	0.4%	1.6%
水道光熱費	2.0%	2.0%	1.9%	2.9%
減価償却費	3.5%	2.6%	6.2%	6.1%
うち繁殖雌牛	0.8%	0.7%	0.6%	2.1%
うち建物	0.9%	0.7%	1.9%	0.7%
うち自動車・農機具	1.8%	1.2%	3.6%	3.3%
うち草地	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%
修繕費	2.0%	1.7%	2.7%	3.3%
うち建物	0.4%	0.4%	0.9%	0.4%
うち自動車・農機具	1.6%	1.3%	1.8%	2.9%
その他諸材料費	1.4%	1.2%	1.6%	2.8%
賃借料及び料金	0.8%	0.2%	4.2%	0.0%
物件税及び公課諸負担	4.3%	3.9%	5.4%	5.7%
その他	1.3%	1.2%	1.7%	1.8%
支払利子	0.9%	1.0%	0.6%	0.4%
支払地代	1.2%	0.8%	1.1%	4.9%
生産費	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表 13 褐毛和種肥育牛 1 頭当たりの生産費(飼養規模別実績) (単位：戸、円)

	飼養規模別			
	～29 頭	30～49 頭	50～99 頭	100 頭以上
調査対象農家数	3	4	8	8
飼料費	255,220	330,362	239,183	288,499
うち購入飼料費	242,802	315,781	232,542	277,529
うち自給飼料費	12,418	14,581	6,641	10,970
敷料費	13,309	10,238	9,612	11,108
労働費	185,773	76,930	35,422	55,149
うち家族労働費	185,773	76,930	35,422	52,108
うち雇用労働費	0	0	0	3,041
もと畜費	554,979	372,344	556,826	512,631
獣医師料及び医薬品費	11,686	18,666	8,558	9,898
水道光熱費・燃料費	28,731	22,233	17,952	17,201
減価償却費	52,738	31,982	20,416	41,826
うち繁殖雌牛	17,353	7,673	3,873	7,840
うち建物	11,608	3,726	5,765	12,803
うち自動車・農機具	23,777	20,584	10,567	21,058
うち草地	0	0	211	125
修繕費	8,093	32,418	19,925	17,286
うち建物	490	10,087	2,983	4,421
うち自動車・農機具	7,604	22,331	16,942	12,864
その他諸材料費	16,271	12,856	17,760	8,263
賃借料及び料金	1,356	7,062	2,546	17,140
物件税及び公課諸負担	56,977	53,924	24,550	47,789
その他	7,872	14,309	16,686	11,211
支払利子	8,419	7,584	12,199	6,713
支払地代	11,470	18,900	8,697	10,844
生産費	1,070,226	992,881	943,998	978,999

表 14 褐毛和種肥育牛 1 頭当たりの生産費(飼養規模別構成比)

	構成比			
	～29 頭	30～49 頭	50～99 頭	100 頭以上
飼料費	23.8%	33.3%	25.3%	29.5%
うち購入飼料費	22.7%	31.8%	24.6%	28.3%
うち自給飼料費	1.2%	1.5%	0.7%	1.1%
敷料費	1.2%	1.0%	1.0%	1.1%
労働費	17.4%	7.7%	3.8%	5.6%
うち家族労働費	17.4%	7.7%	3.8%	5.3%
うち雇用労働費	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
もと畜費	51.9%	37.5%	59.0%	52.4%
獣医師料及び医薬品費	1.1%	1.9%	0.9%	1.0%
水道光熱費	2.7%	2.2%	1.9%	1.8%
減価償却費	4.9%	3.2%	2.2%	4.3%
うち家畜	1.6%	0.8%	0.4%	0.8%
うち建物	1.1%	0.4%	0.6%	1.3%
うち自動車・農機具	2.2%	2.1%	1.1%	2.2%
うち草地	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
修繕費	0.8%	3.3%	2.1%	1.8%
うち建物	0.0%	1.0%	0.3%	0.5%
うち自動車・農機具	0.7%	2.2%	1.8%	1.3%
その他諸材料費	1.5%	1.3%	1.9%	0.8%
賃借料及び料金	0.1%	0.7%	0.3%	1.8%
物件税及び公課諸負担	5.3%	5.4%	2.6%	4.9%
その他	0.7%	1.4%	1.8%	1.1%
支払利子	0.8%	0.8%	1.3%	0.7%
支払地代	1.1%	1.9%	0.9%	1.1%
生産費	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%